

チャレンジスーパーチビっ子

競技要領

1. 受付でゼッケンと参加賞を受け取って下さい。
2. ゼッケンを衣服の胸のあたりに安全ピンで付けて、誘導員の指示にしたがって集合して下さい。
3. 各競技の競技回数は、水泳と100m走は1回のみ、ボール投げ・走り幅跳び・ドリブルは2回競技して得点の高い方を採用します。

1) 100m走

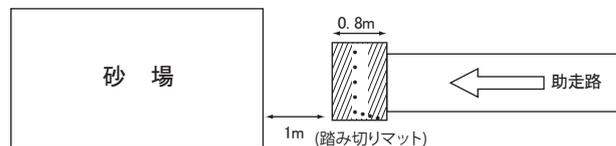
- (イ) スタートはピストルの号砲によって行う。
- (ロ) スタートはスタンディングスタートの要領による。
- (ハ) スタート合図は「イングリッシュコール」とする。
- (ニ) スパイクやスターティングブロックは使用しない。
- (ホ) スタートは同時に4名とする。
- (ヘ) 記録は1/10秒を単位とする。(1/10秒未満切り上げ)
- (ト) フライングをしないようにする。(2回まで)

2) ソフトボール投げ (小学生用1号球使用)

- (イ) 直径2mの円内から投球を行い、円を踏んだり越したりして円外に出てはならない。また、使用するのは1号球とする。
- (ロ) 計測はあらかじめ定められた中心角30度の間に落下したボールを有効とし計測する。
- (ハ) 記録はメートル単位とし、メートル未満は切り捨てる。

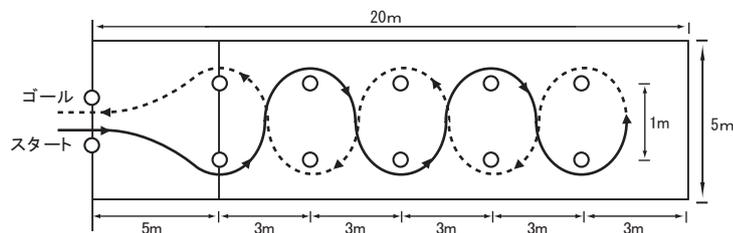
3) 走り幅跳び

- (イ) 踏み切りは踏み切りマット上で行い、踏み切った位置からの跳躍距離で計測する。  
(踏み切りゾーン内で踏み切った場所からの距離)
- (ロ) 踏み切りは片足踏み切りとする。
- (ハ) スパイクは使用しない。
- (ニ) 記録はセンチメートル単位とし、センチメートル未満は切り捨てる。



4) ジグザグドリブル (ドッジボール2号球使用)

- (イ) ドリブルは片手で行い、途中で手をかえてもよい。
- (ロ) ゴールに胸が達した時間を1/10秒まで計測する。(1/10秒未満切り上げ)
- (ハ) 競技中、両手でボールを握ったり同時についてはいけない。  
身体やボールがボールに触れて、ボールを倒したときや、ボールが区域外に出たときは、その地点から競技を行う。



5) 水泳 (50m自由型)

- (イ) スタートはピストルの号砲によりスタート台から飛び込んで行う。  
飛び込めない競技者はスタート台の下(水中)からスタートしてもよい。
- (ロ) 泳法は自由型で自由な泳法で泳いでよい。
- (ハ) 競技者は水泳帽をしっかりとぶり競泳中とれないようにすること。
- (ニ) 記録は1/10秒を単位とする。
- (ホ) フォルススタート(用意の合図があったとき、動いたりプールに落ちたりすること)や競泳中コースロープにつかまったり、立って歩いたり又は隣のコースに入らないよう注意すること。
- (ヘ) スタートは同時に8名とする。